

全自動エスプレッソコーヒーマシン

の シリーズ 取扱い説明書



	百_
 日 次 ● 仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	只 - ·····2 3 3 ~ 5 ~ 10 - ·····6 - ·····8 - ·····9 - ····10 -
 プログラム設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	·· 11 ·· 14 ·· 19
● 製品保証書、無料修理規定 ···· }	裏表紙



このたびは エグロ・ONE シリーズを お求めいただき、誠にありがとうございます。 ご使用になる前に、この説明書をよくお読 みいただき、十分にご理解いただいたうえ で正しく操作してください。

この説明書は、必要な時にいつでもお読み いただけるようわかり易い場所に大切に保 管してください。 ご使用になる前に この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。 表示内容は次の通りです。

警告 守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。 注意 守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

安全上の注意事項

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。



安全上の注意事項

これらの警告・注意事項をよくお読みいただき、必ず守ってください。

⚠ 注意
この機械は、本来の目的以外に使用しないでください。
振動の多い場所や、不安定な場所には設置しないでください。
電源は設置場所から 1m 以内に準備してください。
屋外やこれに準ずる場所には設置しないでください。
高熱を発生する機器の周辺や、直射日光のあたる場所、あるいは凍結の恐れのある場所では使用しな
いでください。
可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないでください。
機器の周辺は、およそ 10cm 以上の空間をあけて設置してください。
設置場所の周囲は、水やコーヒーがこぼれてもよい場所を選んでください。
メーカー水奨の電源電圧でご使用ください。
メーカー推奨の水道水圧内でご使用ください。
給水に使用する水は、必ず浄水した水道水を使用してください。
ご使用の浄水器の使用期限を確認し、定期的に浄水フィルターを交換してください。
本機の上に物を置かないでください。
製品にもたれたり、乗ったりしないいでください。
スチームノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないでください。
運転中、ホッパー内や可動部に手を入れないでください。
清掃・点検時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
洗浄が不十分な場合、異物混入やマシントラブルの恐れがあります。
マシンを使用する際は、必ずマニュアルに従ってマシンを洗浄してください。
排出口や排水管に詰まりがないか始業時に点検を行ってください。
漏電遮断器は月に1回、動作確認してください。
クリーニング時には、必ず専用の薬剤をご使用ください。
使用する洗浄剤のラベルに記載された危険に関する警告を確認してください。
洗浄剤をドリンクに混入させないでください。
営業終了後など長時間作業者がいない場合は、電源プラグを抜いて水道の元栓を閉めてください。
断水の時はメインスイッチを「OFF(切)」にし、水道栓を閉めてください。
断水が発生した場合や長期間マシン(7 日間以上)使用しない状態が続いた場合、残留物が蓄積するこ
とがあります。デイリークリーニングを実施後に使用してください。
設置後に機器の移動は避けて下さい。漏水の原因となります。

	egro 全自動エスプレッソコーヒーマシン
モデル ONE シリーズ	
外形寸法(mm)	幅 300 / 奥行 570 / 高さ 770
重量	57kg
電源	単相 200V、50/60Hz(3 相 200V も可能)
消費電力	2700W
ボイラー容量	コーヒーボイラー:0.4R /スチームボイラー:2R

注意:上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。



	フリッジ MK6
外形寸法(mm)	幅 300 / 奥行 455 / 高さ 580
重量	29kg
電源	単相 100V、50Hz /60Hz 選択
消費電力	70W
ミルク容量 6L (専用容器)	
冷媒の種類 R600a	

お客様へのお願い

機械の設置の際には、水道給水配管の途中に浄(軟)水器を取り付けて、ご使 用ください。これは、水道水のにおいを吸収したりゴミの流入防止やスケー ル付着を予防する役目があります。また、期的なカートリッジ交換が必要で す。交換時期や費用につきましては、販売店またはメンテナンス業者へお問 合せください。

(カートリッジ代及び交換作業費は、保証期間中でも有償となります。) 水道水以外の水を使用しないでください。正しく稼働しない場合が発生し たり、トラブルの原因になることがあります。

各部の名称とはたらき

Touch タイプ ホッパー 粉用投入口 タッチ式 操作パネル スチームノブ、 (C-レバー) C Bust Seler > 0 ピンチバルブ〜 USB端子扉 (Cool Boxタイプのみ) ミルク吸入口 -抽出口LEDランプ (Cool Boxタイプのみ) 青色:抽出可能 白色:抽出中 スチームパイプ〜 赤色:湯沸かし中 UU (コーヒー専用、XPタイプのみ) 緑色:クリーニング中 カス受け扉 _ 熱湯パイプ ドリップグリル ~ ミルク抽出口 ドリップトレー 17 コーヒー抽出口

ホッパー

グラインダーで挽かれる豆を入れておきます。 およそ 1.25kg の豆をいれておくことができます。

粉用ホッパー

ホッパーの豆以外のコーヒーを抽出するときに挽いた コーヒーを投入します(ストックできません)。

タッチ式操作パネル(5ページ参照) 抽出・プログラミングをおこないます。

熱湯パイプ 4 温度帯のお湯を設定、抽出します。





抽出口

ONE

コーヒー・ミルクの抽出口で、容器の高さにあわせて 上下させます。

カス受け扉

カス受け扉を手前に開けると中にカス受けがあります。

_ 付 属 品	
コーヒー洗浄タブレット(200 錠)	1本
ミルク洗浄液 (1 L)	1 ታ
排水ホース	1 式
ミルク用リストラクタ	1 ታ
軽量スプーン	1 ታ

各部の名称とはたらき



ホッパー

グラインダーで挽かれる豆を入れておきます。 およそ 1.25kg の豆をいれておくことができます。

粉用ホッパー

ホッパーの豆以外のコーヒーを抽出するときに挽いた コーヒーを投入します(ストックできません)。

操作パネル(5 ページ参照) 抽出・プログラミングをおこないます。

熱湯パイプ

設定量のお湯を抽出します。

スチームパイプ スチームノブ (C-レバー)



抽出口

コーヒー・ミルクの抽出口で、容器の高さにあわせて 上下させます。

カス受け扉

カス受け扉を手前に開けると中にカス受けがあります。

_ 付 属 品	
コーヒー洗浄タブレット(200 錠)	1本
ミルク洗浄液 (1 L)	1 ታ
排水ホース	1式
ミルク用リストラクタ	1 ታ
軽量スプーン	1 ታ

各部の名称とはたらき

操作パネル

Touch

画面をタッチして 操作します。







1. 抽出口を上に押し上げてください。 2. スチームパイプを左に避けてください。

- 3. カス受け用扉を開けて、カス受けを
- 取り出してください。
- 4. 奥の給水元栓を開き、左側のメインスイッチを ON にしてください。
- 5. メインスイッチの LED が点灯します。

リスマリ	もう山しを閉してくにごい。
カス受け	1月出しを閉じると運転が開始されます
抽出口LE	Dランプが赤色に点灯します。

bad

Machine not ready	

インフォメーション「Machine not ready」

抽出可能状態になるまでに、数回リンスを繰り 返します。(約5~7分(水温により異なります。)) この時コーヒー抽出口よりお湯が出ますので注意 してください。

Т	้ดเ	IC	h	

業時の準備



抽出可能なドリンクのLEDが点灯します。

Keypad **00** : 00

インフォメーション 「Please select」

抽出装置のクリーニングが 終了してから、メインスイッ チをOFFにして、給水元栓を 閉じてください。

- 1. 抽出口を上に押し上げてください。
- 2. スチームパイプを左に避けてください。
- 3. カス受け用扉を開けて、カス受けを 取り出してください。
- 4. 左側のメインスイッチを OFF にして 奥の給水元栓を閉じてください。



T,

2 本体外装の清掃、カス受けの清掃を行ってください。

- 1)本体は湿ったやわらかい布で拭いてください。
- 2) カス受けのカスを捨て、水洗いしてください。
- 3)ドリップトレーを引き出し、水洗いします。
- 4) カス受け、ドリップトレーの水気を よく切ってから元の位置に差し込みます。







(電源プラグを抜く、配電函のレバーを OFF にするなど)

Please select

Touch タイプ コーヒーの抽出 (ホッパーの豆を使った抽出)

インフォメーション表示が "Please select Your beverage" であれば抽出が可能です。

1杯分の抽出

抽出口の下にカップをセットしてください。

2 カテゴリー選択ボタンでカテゴリーを選択し、表示されている6個の抽出ボタンの中からご希望のボタンを選んで押してください。

ボタンを押すと、ランプが点滅し、インフォメーショ ンにドリンク名が表示されます。

3 コーヒー豆が挽かれて、自動的に抽出動作が開始され 設定量を抽出して止まります。

抽出ゲージで抽出量が確認できます。 抽出口 LED ランプは白になります。 抽出を途中で中止する場合はストップボタンを押し てください。

連続抽出(プログラムで最大15杯まで設定が可能です。)

メニュー予約(抽出中に別のメニューの予約ができます。)

抽出中に抽出メニューのボタンを押してください。 同じ抽出メニューを押すと「連続抽出」、違う抽出 メニューを押すと「メニュー予約」となります。

ボタンを押すと、ディスプレイのイラストの横に バーが表示されます。バーはボタンを押すごとに増 えていきます。(プログラムで最大10種までの予約 設定ができます。)

予約の取り消し

ストップボタンを押すとキャンセル表示します。 OK を押すと全ての予約が取り消されます。

粉用メニュー

粉用メニューには 💟 マークがメニューに表示されています。

■ 粉用投入口の扉を開けてください。

2 抽出杯数に応じたコーヒー粉を入れます。 (20g 以上は入れないでください。)

3 扉を閉じて抽出ボタンを押してください。





Keypad タイプ コーヒーの抽出 (ホッパーの豆を使った抽出)

ディスプレイ表示が "Please select" であれば抽出が可能です。

1杯分の抽出

抽出口の下にカップをセットしてください。



抽出口 LED ランプは白になります。

連続抽出(プログラムで最大15杯まで設定が可能です。)

抽出中に再度抽出メニューのボタンを押してください。 ボタンを押すと、ディスプレイのコーヒーマークの下に

ボタンを押すこ、ティスクレイのコーヒーマークの下に [# 01] と表示されます。 ボタンを押すごとに数字は増えていきます。

メニュー予約(抽出中に別のメニューの予約ができます。)

抽出中に次に抽出したいメニューのボタンを押して ください。

ボタンを押すと、抽出中のメニューのランプは "点滅"、予約したメニューのランプは"点灯"します。 ※予約したメニューの連続抽出の設定も行えます。

予約の取り消し

ストップボタンを押すと全てキャンセルされます。



Espresso

Espresso ボタンを押した場合







スチームの使用中・使用直後は、スチームパイプが高温になりますのでヤケドに注意してください。 スチーム使用後はパイプ・ノズルを湿った布でよく拭きスチームの空だしを行ってください。 注意 (パイプ内にドリンクが詰まり異臭発生や故障の原因となります。)

スチーム使用方法 (オプション)



- ピッチャーにミルクを入れてください。
- Z i・スチームノズルをミルクの入ったピッチャーにつけてください。
- i・スチームのどちらかお好みのスイッチを押してください。 センサーにより、決められた時間ピッチャー内のミルクを温めて 自動的に止まります。
- 使用後は、ピッチャーに水を入れてスチームを行ってからピッチャーを ノズルからはずしてスチームノズルを清潔な布で拭き取ってください。

※ミルクの量により、温めの時間は変動します。 温め時間の設定はプログラム一覧の「プロダクト設定」(P.12)を ご参照ください。

時計回り スチーム連続使用 (ノブ固定)



操作方法

熱湯の使用

熱湯の使用

紅茶など少量の熱湯をつかう場合に使用します。

Keypad

熱湯ボタンを押すと熱湯ノズルから湯がでます。 このときディスプレイ表示は、 "Your choice Jug" と表示されます。

> Your choice Jug

熱湯を途中で止めるときは、再度熱湯ボタンを押すか、STOP ボタンを 押してください。 **熱湯量の調整は可能です。

高温 (

Touch



4 温度帯の湯量設定を熱湯選択ボタンに 設定することができます。

()↔()↔)↔`↔‰

カス受け満杯メッセージ

Touch

<

Keypad

Enpty grounds drawer

インフォメーション「Machine not ready」

カス受け扉を手前に引き開けてください。

1. 抽出口を上に押し上げてください。

)

- 2. スチームパイプを左に避けてください。
- 3. カス受け用扉を開けて、カス受けを取り出してください。

[」]カス受けを取り出しコーヒーカスを捨ててください。

この時ディスプレイにカウントが表示されます。"0" になったら カス受けを元の位置に戻しカス受け扉を閉じてください。

の表示が出て機能がストップした時は、 下記の順でカス受けのカスを空にして ください。

低温





プログラム設定

プログラムへの入り方

Touch タイプ



時計を5秒間長押しします。 画面が切り替わりますので、 マネージャーメニュー (Manager menu) を 選択し、パスワードを入力して ください。 マネージャーパスワード: 1927



2 マネージャーメニュー表示

①メニュー設定 ②タッチスクリーン設定 ③時計設定 ④製品セットアップ ⑤マシンセットアップ ⑥クリーニング設定 ⑦カウンター設定

Keypad 977



Ε. . . .





ストップボタンを

5秒間長押しします。

パスワードを入力してください。 マネージャーパスワード: 1927



4 _{マネージャーメニュー表示} ①メニュー設定 ②時計設定 ③製品セットアップ ④マシンセットアップ ⑤クリーニング設定 ⑥カウンター設定

マネージャーメニュー操作キー



※操作中に点滅して いるボタンが現状 操作中のボタンと なります。



Cycles Water [I]

プログラム一覧

メニュー設定 (Product Configuration)

Name	メニュー選択(カスタマイズ入力可能)
lcon	メニューアイコンの選択 ※※
Туре	飲料の抽出タイプの選択
Position	ボタン位置①~⑯の選択 ※
Grams	コーヒーの分量(グラム入力)
Coffee source	ホッパーの選択(右、左、粉用)
Impulses	コーヒー抽出量(1imp=0.5cc)
Bypass	エクストラウォーター量(1imp=0.5cc)
Pre-Infusion	むらし機能(5 段階設定) 「Off」「Short」「Medium」「Long」「Max」
Tamping Pressure	タンピング圧力(3 段階設定) 「Small」「Medium」「Strong」
Hot water quantity	熱湯の湯量設定(1imp=0.5cc)
Hot water temperature	熱湯の温度設定 ※※
Milk quantity	ミルクの量の設定(秒)
Milk form	エアーの調整
	100%はホットミルク
	0%はミルクフォーム
Price	価格の設定(使用不可)
	Name Icon Type Position Grams Coffee source Impulses Bypass Pre-Infusion Tamping Pressure Hot water quantity Hot water temperature Milk quantity Milk form

※ Keypad タイプのみ※※ Touch タイプのみ

カウンター確認 (Product Configuration)

\lor	Products	飲料抽出杯数表示
	> Type	飲料タイプ別に杯数表示
	>Total	前回リセット以降の全飲料の合計抽出杯数
	>Coffee	imu Juy Nukoo コーヒー飲料の抽出杯数
	>Coffee & Milk	前回リセット以降のコーヒー&ミルク飲料の抽出杯数
	> Milk	imuJtay Flyago ミルクの抽出杯数
	>Hot water	imuJty Flyan お湯の抽出杯数
	>iSteam formed	i スチームのフォームドボタンにて作成した フォームドミルクの回数
	>iSteam steamed	i スチームのスチームボタンにて作成した スチームドミルクの回数
	>Products	imuJtyrumの各飲料の抽出杯数を表示
	>Reset counters	全ての飲料の抽出回数をリセット。
		前回リセットした日時も表示。
>	Maintenance	(サービスマンの設定項目)

プロダクト設定 (Product set up) (オプション設定)

\vee	i steam module	iスチームの設定

マシンセットアップ設定 (Machine setup)

>	Function mode	(サービスマンの設定項目)				
	> Stand-by mode	(サービスマンの設定項目)				
	> Cash system mode	(サービスマンの設定項目)				
	> Self-service mode	(サービスマンの設定項目)				
\checkmark	General	一般設定				
	∨Language (言語)	言語を選択				
	> Buzzer	ボタン確認音の ON/OFF				
	>Change password	マネージャー用パスワードを、 新しい4桁の数値に変更				
	> Light	抽出口 LED 点灯の ON/OFF				

日時設定 (Clock setting)

\vee	Clock	時計の設定				
	VDate mode	日付表示の選択 DD/MM/YY 又は MM/DD/YY				
	>Set date	年、月、日の日付を設定				
\vee	>Tlme mode	12時間表示又は24時間表示				
	>Set time	時間の設定				
	Auto power ON	自動電源機能の設定				
	$m{ar{ u}}$ Enable Auto power	自動電源機能設定のON・OFF				
	>Sunday_time ON	各曜日の 自動電源 ON 設定				
	>Sunday_time OFF	各曜日の 自動電源 OFF 設定				
	>Copy to all ?	日曜日の設定を全ての曜日に反映				

※ Touch タイプでは、Auto power ON 設定を使用した場合、 ディスプレイの時計表示の左側に ②と表示されます。

クリーニング設定 (Cleaning)

\vee	Cleaning time	毎日のクリーニングスケジュールの設定
>	Self-service cleaning	セルフサービスモードにおいて、 毎日のクリーニング設定の ON・OFF

プログラム設定

プログラム一覧(Touch タイプ)

タッチスクリーン設定 (Touch screen)

\vee	Pages	カテゴリー				
	VPage name	カテゴリー名の変更				
	>Page colour	カテゴリー背景色の変更				
	>Page product					
	>Page order	カテゴリー位置の変更				
	>Page property					
	>Time to home	カテゴリー 01 表示に戻る 時間を設定				
\vee	Backup	(サービスマンの設定項目)				
\vee	Energy saving	(サービスマンの設定項目)				
\vee	Promotion	(サービスマンの設定項目)				
\vee	Enable Video	(サービスマンの設定項目)				



Cool Box対応モデル Touchタイプ

400cc の水に 20cc の 洗剤を溶かした洗浄水に ミルクチューブを差し込ん でください。



2 時計を5秒間長押しします。画面が切り替わりますので、 クリーニングメニュー (Cleaning menu)を選択してください。 Daily cleanings → Coffee & Milk と選択してください。







3 ディスプレイの指示に従い、粉用投入口から タブレットを投入してください。 洗浄が開始されます。

4 ディスプレイの指示に従い、カス受けの中の コーヒーカスを捨ててください。

洗浄が終了しますと画面に"Cleaning finised"と表示されますので 画面下の Back を押してメニュー表示画面に戻ってください。



Cool Box対応モデル Keypadタイプ

400cc の水に 20cc の 洗剤を溶かした洗浄水に ミルクチューブを差し込ん でください。



2 ストップボタンを3回押してください。

ディスプレイに"Dairy cleaning"と表示されます。 下図を参考に"Coffee & Milk"を選んでください。

Dairy cleanning



ディスプレイの指示に従い、粉用投入口から タブレットを投入してください。

洗浄が開始されます。







カス受けの中のコーヒーカス を捨ててください。

洗浄方法



※洗浄中は熱いお湯が出ます 抽出口付近に手を近づけ ないでください。

0

20

0

5.0

🖬 a

OKを押す

水または中性洗剤で

※洗剤で洗う場合は

よくすすいでください

2 20

- Ok

洗ってください

容器を冷蔵庫へ戻しチューブを セットしてください **17**



TopMilk (専用フリッジKS9) Keypadタイフ

付属コンテナにミルクライン洗浄剤ESL-2000を キャップ半分程度入れておきます。



タブレット洗浄剤 EST-5000も1錠、 ケースから出して おきます。

2 ストップボタンを10秒間長押しします。画面が切り替わり クリーニングメニュー(Cleaning menu)に入ります。 ボタン①を1回押して決定してください。



ストップボタンを10秒間長押し



ボタン①で決定

「Cleaning status」と表示されるので ボタン③を押して「Daily Cleanings」が表示 されるまでスクロールし、「Daily Cleanings」 が表示されたら、ボタン①を1回押して決定ます。





ボタン③でスクロール

ボタン①で決定













カス箱を空にしてください



6 [Ins.coffee tablet Press <STOP/CLEAN>] (錠剤を入れて、STOPを押してください) と表示されるので、ホッパーの間のタブレット投入口 フタを開け、タブレット洗浄剤を1錠投入して、 ストップボタンを押して洗浄を開始します。





EGRO Tablet disolve

ストップボタンを押し 洗浄開始

「Tablet disolve 〇〇%」と表示されます。 (錠剤を溶かしています)

※洗浄中は熱いお湯が出ますので、抽出口付近に 手を近づけないでください。





TopMilk(専用フリッジKS9) Keypadタイプ

洗浄はコーヒーライン洗浄から行われます 開始して間もなく画面表示が、

[Remove milk container/Press <STOP/CLEAN>] (ミルク容器をとりはずしてください)に切り替わります。 ミルク容器を冷蔵庫より取り出し、ストップボタンを押します。



冷蔵庫からミルク容器を出します



「Milk rinsing WAIT」と表示され (ミルクラインすすぎ中 お待ちください) 少量のすすぎが入ります

8 ミルクラインすすぎ完了後、間もなく画面表示が、 [Insert container with cleaner/<STOP/CLEAN>] に切り替わります。(洗浄剤入りコンテナをセットしてください) 洗浄剤を入れておいた付属コンテナにミルクチューブを セットして、ストップボタンを押します。



洗浄剤を入れたコンテナをセット



「Milk cleaning ○○%」と表示され、 (ミルクライン クリーニング中) (ミルクライン クリーニング中) 抽出口に洗剤・すすぎ水が流れます。



100%になりライン洗浄完了

洗浄完了後「Remove container and clean tube/<STOP/CLEAN>」 (コンテナを取り出し、チューブを清掃して、STOPを押してください) と表示されますので、付属コンテナ、ミルクチューブを 取り外し洗浄し、ストップボタンを押します。





コンテナを冷蔵庫より 取り出します



冷蔵庫のミルクチューブを





ミルクチューブは、水または 中性洗剤で洗ってください ※洗剤で洗う場合はよく すすいでください



ストップボタンを押します

10 [Insert container with milk/<STOP/CLEAN>] (ミルクの入った容器セットして、STOPを押してください) と表示されますので、チューブ取付後、ミルクを入れた 容器を冷蔵庫へセットし、ストップボタンを押します。 以上で、クリーニングプログラムは完了です。



洗浄方法

毎日の清掃

抽出口を取り外して分解し、付属のブラシ等と食器用中性洗剤を 使用し、よく洗ってください。

抽出口の取り外し

左右のフック①を内側へ 押しながらそのまま真下へ 押しこみます。



ご注意ください。

抽出口の分解

左右のフック①を開きながら ②の場所を上へ押します。



2 各チューブの先端部を水でしぼった 清潔な布で拭き取ってください。



※抽出口のフック(①の部分)に力をかけ過ぎると破損する恐れがあります。 フリッジや Cool Box を お使いの場合は、内部を 柔らい布で拭いてください。



ルカータイ 清 (\mathcal{O})

ミルカーを取り外し、チューブを抜いて分解し、 付属のミルクブラシでミルカー内の穴を清掃剤で 残ったミルクが無い様に洗い、よく水洗いしてください。

逆の手順で抽出口を組み付けてください。







ミルカー ロリング交換方法

ミルクの泡立ちが悪くなった。 または、Oリングの消耗が 確認できましたらミルカー 0リングを交換してください。

Oリングのご注文は、担当のラッキー コーヒーマシンサービスセンターへ ご連絡をお願い致します。

2 ミルカーを組み立てて、チューブを差し直して 抽出口に取り付けます。

※ 】と逆の順番で 組み立ててください。



フリッジや Cool Box をお使いの場合は、 内部を柔らい布で拭いてください。





故 障 診 断

◎ 本機に異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。

◎ サービスを依頼する前に、次のことを確認してください。

- ・電源プラグはしっかり差し込まれているか。
 - ・水道の元栓は開いているか。
- ◎ サービスを依頼する場合は確認された症状をくわしくお伝えください。

症状	原因	処置
動かない。	電気コンセントは正常ですか? 電源プラグが抜けてませんか? メインスイッチは入ってますか?	電源コンセントを確認してください。 電源プラグをきっちり差し込んでください。 メインスイッチを入れてください。
コーヒーの代わりに 熱湯のみが出てくる	ホッパーにコーヒーが入って いますか? ホッパーシャッターが閉じた ままになっていませんか?	ホッパーにコーヒーを入れてください。 ホッパーシャッターを開けてください。
フォーム・ミルクの 代わりにスチームの みが出てくる	ミルク容器にミルクが入って いますか? ミルク吸入用チューブがミルク 容器に完全に浸っていますか? ミルクヘッドが凝固していま せんか?	ミルク容器にミルクを入れてください。 ミルク吸入用チューブを完全に浸して ください。 ミルクヘッドを掃除してください。
画面に エラー表示がでた		エラー内容と番号をサービスセンターへ 連絡してください。

Memo

安全上の注意事項

コーヒーマシンを安全にご使用いただくために営業終了後など長時間作業者がいない場合は 必ず下記の作業の実施をお願い致します。

終業時の手順

マシンの電源をOFFにしてください。





2 電源プラグをコンセントから抜いてください。



※電源コードをもって抜かないでください。 濡れた手で電源プラグに触れないでください。



始業時の手順









※濡れた手で電源プラグに触れないでください。 電源はアース付きの専用のコンセントに 取り付けてください



製品保証書

型式	機番			保証期間					
お	お名前				様	お買_	Lげ日よ	り1 た	」年
客	ご住所	Ŧ				お買上げ日			
様	電話()	—		*	年	月	日
*販売店名									
住所									
電話())									

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で 無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。 ご販売店さまへ:*印欄は必ず記入してお渡しください。

無料修理規定

- 1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 2. 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。
 - (イ)使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。
 - (ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の 使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
 - (二) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (ホ)本書のご提示がない場合。
 - (へ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- 3. この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年です。
- 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 5. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。 従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の 修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。



事業所については こちらをご覧ください

